本資料の正文は運用会社作成の英文資料です。記載内容は英文が優先しますので、必ずご確認ください。

IGLD

2026/6/30

FT Vest ゴールド戦略 ターゲットインカムETF

» ファンドの目的

このアクティブ運用の上場投資信託（「IGLD」または「ETF」）は、安定したインカム収益を得ながら、SPDR Gold Trust（「GLD」または「原資産ETF」）のプライスリターンに連動することを目指します。

» ファンド概要

ファンドティッカー	IGLD
ISIN	US33733E8562
CUSIP	33733E856
iNAVティッカー	IGLDIV
ファンド設定日	2021/03/02
30日SEC利回り†	2.37%
総経費率	0.85%
主要取引所	Cboe BZX

» ファンド詳細

» 当ファンドは、GLDの価格リターンへの参加を実現すると同時に、年率で米国債1ヶ月物への投資で生じる収益を約3.85%（手数料および費用控除前）上回る、安定した水準の収益を提供することを目指しています。

» 当ファンドは、実質的にすべての資産を短期米国債、現金および現金同等物、ならびにGLDのパフォーマンスを参照するフレキシブル・エクスチェンジ・オプション（FLEXオプション）を含む取引所上場オプションを保有する完全子会社の株式に投資します[1]。FLEXオプションはカスタマイズされたオプション契約で、投資家は行使価格、スタイル、満期日などの主要な契約条件をカスタマイズすることができます。

- 米国債を、GLDのコール・オプションの購入とプット・オプションの売却を組み合わせることで、金の価格リターンに連動することを目指します。

» 当ファンドはまた、GLDのコール・オプションの売却を通じて収益を得ようとします。このコール売り戦略により、GLDの価格上昇リターンの一部が現在の収益に転換されます。現在、当ファンドは、安定したインカムを提供しながら、成長可能性の重要な部分に参加することを目指しています。

- 一般に1カ月満期のコール・オプションを売却することは、ターゲット・インカムの目標に向けてプレミアム収入を追加することを目的としています。コールの売却により、売り手は原資産の株式を権利行使価格で売却する義務を負います。

» ファンド・サブ・アドバイザー

» Vest Financial LLC（以下「Vest」）はファンドのサブ・アドバイザーであり、ファンドのポートフォリオを管理します。

- Vestは2012年に設立され、2016年に初めて市場に導入されたターゲット・アウトカム戦略®を採用した初の投資ファンドを運用しました。

» パフォーマンス概要(%)

	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド・パフォーマンス*							
基準価額(NAV)	-12.81	-7.59	13.97	19.50	12.30	—	11.56
市場価格	-12.76	-7.43	14.31	19.62	12.35	—	11.63
指数パフォーマンス**							
LBMA Gold Price	-12.64	-7.82	22.47	28.17	17.96	—	17.25
S&P 500® Index	15.20	10.21	22.32	20.61	13.41	—	14.86

» 年次トータルリターン(%)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	年初来
IGLD	—	—	—	—	—	—	-3.26	10.95	18.80	47.39	-7.59
LBMA Gold Price	—	—	—	—	—	—	-0.43	14.59	25.53	67.41	-7.82
S&P 500® Index	—	—	—	—	—	—	-18.11	26.29	25.02	17.88	10.21

» 3年間の統計

	標準偏差(%)	アルファ	ベータ	シャープレシオ	相関関係
IGLD	14.59	-2.51	0.77	0.99	0.96
LBMA Gold Price	18.20	—	1.00	1.22	1.00

引用されているパフォーマンスデータは過去のものです。過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は *www.ftportfolios.jp* から確認できます。

† 30日SEC利回りは、直近の30日間に獲得した1株当たりの純投資利益を、期末日の1株当たりの最大公開価格で割って算出されます。

*基準価額（NAV）リターンは、ファンドの純資産（資産から負債を差し引いたもの）をファンドの発行済み株数で割った基準価額（NAV）に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額（NAV）リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。

**掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。

[1]子会社はファンドが全額出資し、ケイマン諸島の法律の下で組織されています。原資産ETFのFLEXオプションへの投資はすべて子会社が行います。子会社はファンドの投資アドバイザーであるFirst Trust Advisors L.P.の助言を受け、サブアドバイザーであるVest Financial LLCのサブ助言を受けます。

FT Vest ゴールド戦略 ターゲットインカムETF

2026/6/30

» ポートフォリオ情報

保有証券数	4

» 上位保有銘柄(%)

U.S. Treasury Bill, 0%, due 11/27/2026	152.04
2026-11-30 SPDR® Gold Trust C 581.82	0.24
2026-07-31 SPDR® Gold Trust C 368.38	-0.63
2026-11-30 SPDR® Gold Trust P 581.82	-54.27

» ポートフォリオ・オプション情報[1]

オプション・オーバーライト比率	21.39%
当月のアップサイド参加率	78.61%
ロングコールの満期	2027/11/30
ショートプットの満期	2027/11/30
ATMショートコールの満期	2026/07/31

[1]オプション・オーバーライト比率は、各月のコール売却日において、ロングポジションに対するコールオプションの売却に使用される純資産価値の割合です。当月のアップサイド参加率は、各月のコール売却日における原資産の価格リターンへの参加率です。ロングコールの満期は、コールオプションの購入とプットオプションの売却を組み合わせて、原資産の価格リターンへの参加を求める満期日です。ショートプットの満期は、コールオプションの購入とプットオプションの売却を組み合わせて、原資産の価格リターンへの参加を求める満期日です。ATM（アット・ザ・マネー）ショートコールの満期は、オプション価格が原証券の現在の価格と同一である場合です。ATMショートコールは、ファンドのプレミアムインカムを生み出し、満期日に失効します。

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書を入手するには、*First Trust Japan*（*www.ftportfolios.jp*）にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

ファンド株式の活発な取引市場が発展または維持されるという保証はありません。

ファンドによるコールオプションの使用には、通常のポートフォリオ証券取引とは異なるリスクが伴い、ファンドのポートフォリオマネージャーが市場の動きを正しく予測する能力に依存します。コールオプションの売り手（ライター）として、参照指数または証券の価値が行使価格を上回った場合、損失を被る傾向があります。コールオプションを売却するとき、ファンドはオプション保有者によるオプションの行使を制御することはできず、ファンドが販売するアメリカンスタイルのオプションは、オプションの満期日前にいつでも行使することができます（満期日にのみ行使できるヨーロピアンスタイルのオプションとは対照的です）。ファンドがオプションを決済するために証券を売却する必要がある場合があり、それは資本のリターンを構成し、ファンドを他のETFよりも税効率が悪くなる可能性があります。また、オプションにはレバレッジの使用が含まれる場合があり、その結果、他の市場よりも価格の変動が大きくなる可能性があります。

設定と償還の全部または一部を現物ではなく現金に換えるファンドは、税効率が低くなる可能性があります。

コモディティ価格には大きなボラティリティがあり、コモディティへのエクスポージャーは、ファンドの株式の価値を急速かつ予測不可能な方法で下落または変動させる可能性があります。

ファンドは、カウンターパーティがその義務を履行しないリスクにさらされる可能性があり、その結果、ファンドに重大な経済的損失が生じる可能性があります。

カバード・コール・オプションのライターは、コールオプションをカバーする原証券の市場価値が、プレミアムとコールの権利行使価格の合計を上回ることによる利益を放棄しますが、原証券の価値が下落した場合には損失のリスクを保持します。ファンドは、オプション保有者によるオプションの行使を管理することはできず、原証券の資本増加による恩恵を失う可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。例えば、政府の財政政策や規制政策の変更、銀行や不動産市場の混乱、実際の国際的武力紛争や敵対行為の脅威、公共衛生上の危機など、他の重要な出来事がファンドの投資価値に重大な影響を与える可能性があります。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

債券への投資は、保有者に発行体の信用リスクを負わせ、債券の価値は一般的に金利の変動に反比例して変動します。さらに、債券は通常、証券取引所で取引されないため、流動性が低く、評価が難しくなります。

デリバティブ商品の使用には、カウンターパーティリスク、バリュエーションリスク、ボラティリティリスク、流動性リスクなど、証券に直接投資するリスクとは異なる、場合によってはより大きなリスクが伴います。さらに、原資産の価格または価値、指数またはレートの不利な動きによる損失は、デリバティブの特定の特徴によって拡大される場合があります。

ファンドは通常、収益を分配金として支払うため、収益が不十分な場合、ファンドは分配金の減額を必要とされる場合があります。さらに、通常であれば売却しない証券をファンドが売却する必要が生じる場合があり、その売却による分配金が資本のリターンに該当する可能性があります。このためファンドの元本投資が時間経過とともに減少することを望まない投資家、または特定期間には資本のリターンを受け取りたくない投資家にとって適切な投資ではない可能性があります。

FLEXオプションの取引には、証券への直接投資に関連するリスクとは異なり、または場合によってはそれ以上のリスクが伴います。ファンドは、特定のFLEXオプションのポジションから大幅な下落を経験する可能性があり、特定のFLEXオプションのポジションが無価値になる可能性があります。FLEXオプションに流動性のある流通取引市場が存在するという保証はなく、FLEXオプションは取引所取引オプションよりも流動性が低い可能性があります。

ファンドの収入は、金利が低下したり、ポートフォリオにデフォルトが発生した場合に減少する可能性があります。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模、変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。

インフレが進行すると、ファンドの資産と分配金の現在価値が低下する可能性があります。

金利リスクとは、金利上昇により、ファンドのポートフォリオの債務証券の価値が下がるリスクです。金利リスクは、一般的に短期債務証券の方が低く、長期債務証券の方が高くなります。

レバレッジは、当初の投資額を超える損失を生じさせる可能性があり、損失率を加速させる可能性があります。レバレッジは、資産または資産のクラスに対するファンドのエクスポージャーの増減の影響を、時には大幅に拡大する傾向があり、ファンドの株式の価値が変動し、市場の変動に敏感になる可能性があります。

ファンド投資の中には、転売、店頭取引や取引量の制限、または活発な取引市場が不足している場合があります。流動性の低い証券は割引価格で取引される場合があり、市場価値の大幅な変動の影響を受ける可能性があります。

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオマネージャーは、投資手法とリスク分析を適用しますが、これらは望ましい結果をもたらさない可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。

「非分散型」に分類されたファンドは、その資産の比較的高い割合を限られた数の発行体に投資する場合があります。その結果、ファンドは、これらの発行体の1つまたは複数に影響を与える単一の経済的事象、または規制上の事象の影響を受けやすくなり、ボラティリティが増加し、特定の発行体に高く集中する可能性があります。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々な運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カストディを含むさまざまなサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額（NAV）の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。

単一の資産クラス、国、地域、業界、セクターへのエクスポージャーが大きいファンドは、広く分散されたファンドよりも、経済的または政治的な不利な事象の影響をより受ける可能性があります。

子会社の投資リスクは、ケイマン諸島の法律に基づいて組織されたファンドの完全子会社（以下「子会社」）を通じて特定の証券に投資するファンドに適用されます。米国およびまたはケイマン諸島の法律の変更により、ファンドが意図したとおりに運営できなくなる可能性があります。子会社は1940年法に基づいて登録されておらず、1940年法のすべての投資家保護の対象ではありません。したがって、子会社の投資家であるファンドは、登録投資会社の投資家に提供されるすべての保護を受けることはできません。

ファンドが課税年度においてRICとして適格ではなく、特定の救済規定が利用できなかった場合、ファンドの課税所得はファンドレベルで課税され、そのような所得が分配されるときに株主レベルでさらに課税されます。さらに、ファンドへの投資の種類に基づいて、ファンドに他の税務上の影響がある場合があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

ETFを参照するFLEXオプションに投資するファンドは、ETFの株式を所有するリスクと、参照ETFが投資する商品の種類のリスクの影響を受けます。

単一の資産クラス、国、地域、業界、またはセクターに投資が集中している原資産ETFは、市場全体よりも有害事象の影響を大きく受ける可能性があります。

参照ETFのFLEX Optionsへの投資（子会社を通じて）を通じて金へのエクスポージャーを有するファンドは、金リスクの影響を受けます。金地金の価格は、国際的な金融および政治の動向によって大きく影響を受ける可能性があり、一般的にはより投機的である可能性があります。さらに、世界の金属価格は短期間で大幅に変動する可能性があり、その結果、ファンドの株価は他の種類の投資よりも変動する可能性があります。原資産ETFは金に保険をかけておらず、損失を被る可能性があり、当事者が損害賠償の責任を負わない場合があります。

連邦政府機関および米国政府後援機関によって発行または保証された証券は、米国政府の全面的な信頼と信用に裏打ちされている場合とそうでない場合があります。

ファンドが保有する証券やその他の資産は、市場相場以外の要素に基づいて評価される可能性があります。これは、資産または証券が中央集権的な取引所で取引されないため、または市場の混乱や流動性の低下時に発生する可能性があります。「公正評価」資産や有価証券など、市場相場以外の手法を使用して評価されたポートフォリオ保有は、市場相場が使用された場合よりも、日によって評価に大きな変動が生じる可能性があります。ファンドがいつでも設定された価値で売却、またはポートフォリオポジションをクローズできるという保証はありません。

First Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファースト・トラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

First Trust Advisors L.P.は、商品プール運営者および商品取引アドバイザーとして登録されており、全米先物協会のメンバーでもあります。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供するものではありません。ファーストトラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

定義

標準偏差は、価格変動性（リスク）の尺度です。アルファは、投資がベンチマークと比較してリスク調整済みベースでどれだけアウトパフォームまたはアンダーパフォームするかを示す指標です。ベータは、市場に対する価格変動の尺度です。シャープレシオは、ボラティリティの単位あたりの超過報酬の尺度です。相関関係は、パフォーマンスの類似性の尺度です。LBMA金価格は、ロンドンで引き渡される未割り当て金の世界的なベンチマーク価格です。S&P 500®指数は、米国株式市場の大型株のパフォーマンスを測定するために使用される500社から構成される非管理指数です。

Target Outcomeの登録商標は、Vest Financial LLCの登録商標です。
当ファンドは、SPDR® Gold TrustおよびWGTS（以下、その関連会社と合わせて「企業」といいます）が後援、承認、販売、または宣伝するものではありません。企業は、ファンドまたはFLEXオプションに関連する説明および開示の合法性または適合性、または正確性または妥当性を伝えていません。企業は、ファンドまたはFLEXオプションへの投資の妥当性、またはファンドまたはFLEXオプション、株主、またはSSPDR® Gold Trustの使用から得られるその他の個人または団体の結果について、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。企業は、ファンドまたはFLEXオプションの管理、管理、マーケティング、または取引に関連して責任を負いません。

IGLD

As of 30/6/26

FT Vest Gold Strategy Target Income ETF®

» Fund Objective

This actively managed exchange-traded fund ("IGLD" or "ETF") seeks to deliver participation in the price returns of the SPDR® Gold Trust ("GLD" or the "underlying ETF") while providing a consistent level of income.

» Fund Facts

Fund Ticker	IGLD
ISIN	US33733E8562
CUSIP	33733E856
Intraday NAV	IGLDIV
Fund Inception Date	2/3/21
30-Day SEC Yield†	2.37%
Total Expense Ratio	0.85%
Primary Listing	Cboe BZX

» Fund Description

» IGLD seeks to deliver participation in the price returns of GLD while providing a consistent level of income that, on an annual basis, exceeds the income generated by an investment in one-month U.S. Treasury securities by approximately 3.85% (before fees and expenses).

» The fund will invest substantially all of its assets in short-term U.S. Treasury securities, cash and cash equivalents, and in the shares of a wholly-owned subsidiary that holds exchange-traded options, including FLexible Exchange Options ("FLEX Options"), that reference the performance of GLD.[1] FLEX Options are customized options contracts that provide investors the ability to customize key contract terms, such as exercise prices, styles and expiration dates.

- U.S. Treasury securities will be purchased in combination with the purchase of long call options and sale of short put options on GLD, seeking to provide exposure to the price return of gold.

» The fund will also seek to generate income through the sale of call options on GLD. Through this call selling strategy, a portion of the upside price return of GLD is converted into current income. As a result, the fund seeks to participate in a meaningful part of the growth potential while providing a consistent level of income.

- Writing (sell) call options generally with a 1-month maturity is intended to add premium income towards the target income objective. Writing a call gives the seller the obligation to sell shares of the underlying asset at a strike price.

» Fund Sub-Advisor

» Vest Financial LLC ("Vest") is the sub-advisor to the fund and will manage the fund's portfolio.

- Vest was founded in 2012 and managed the first investment funds to use a Target Outcome Investments® strategy which were first introduced to the market in 2016.

» Performance Summary (%)

	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	Since Fund Inception
Fund Performance*							
Net Asset Value (NAV)	-12.81	-7.59	13.97	19.50	12.30	—	11.56
Market Price	-12.76	-7.43	14.31	19.62	12.35	—	11.63
Index Performance**							
LBMA Gold Price	-12.64	-7.82	22.47	28.17	17.96	—	17.25
S&P 500® Index	15.20	10.21	22.32	20.61	13.41	—	14.86

» Calendar Year Total Returns (%)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	YTD
IGLD	—	—	—	—	—	—	-3.26	10.95	18.80	47.39	-7.59
LBMA Gold Price	—	—	—	—	—	—	-0.43	14.59	25.53	67.41	-7.82
S&P 500® Index	—	—	—	—	—	—	-18.11	26.29	25.02	17.88	10.21

» 3-Year Statistics

	Standard Deviation (%)	Alpha	Beta	Sharpe Ratio	Correlation
IGLD	14.59	-2.51	0.77	0.99	0.96
LBMA Gold Price	18.20	—	1.00	1.22	1.00

Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.jp.

†30-day SEC yield is calculated by dividing the net investment income per share earned during the most recent 30-day period by the maximum offering price per share on the last day of the period.

***NAV** returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. **Market Price** returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

**Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

[1]The subsidiary is wholly-owned by the fund and is organized under the laws of the Cayman Islands. All investments in FLEX options on the underlying ETF will be undertaken by the subsidiary. The subsidiary is advised by First Trust Advisors L.P., the Fund's investment advisor, and sub-advised by Vest Financial LLC, the sub-advisor.

FT Vest Gold Strategy Target Income ETF®

As of 30/6/26

» Portfolio Information

Number Of Holdings	4

» Top Holdings (%)

U.S. Treasury Bill, 0%, due 11/27/2026	152.04
2026-11-30 SPDR® Gold Trust C 581.82	0.24
2026-07-31 SPDR® Gold Trust C 368.38	-0.63
2026-11-30 SPDR® Gold Trust P 581.82	-54.27

» Portfolio Options Information[1]

Option Overwrite %	21.39%
Current Month Upside Participation %	78.61%
Long Call Maturity	11/30/27
Short Put Maturity	11/30/27
ATM Short Call Maturity	7/31/26

[1]**Option Overwrite %** is the percentage of the net asset value used for writing of call options against a long position at each monthly call selling date. **Current Month Upside Participation %** is the percentage of participation in the price returns of the underlying instrument at each monthly call selling date. **Long Call Maturity** is the expiration date for the long (purchased) call option and short (written) put option that in combination seek to provide participation in the price return of the underlying instrument. **Short Put Maturity** is the expiration date for the long (purchased) call option and short (written) put option that in combination seek to provide participation in the price return of the underlying instrument. **ATM (At the Money) Short Call Maturity** is when an options price is identical to the current price of the underlying security. The ATM short call produces premium income for the Fund which expires on the maturity date.

You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Japan Co., Ltd. at www.ftportfolios.jp to obtain a prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus should be read carefully before investing.

Risk Considerations

You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.

There can be no assurance that an active trading market for fund shares will develop or be maintained.

A fund's use of call options involves risks different from those associated with ordinary portfolio securities transactions and depends on the ability of a fund's portfolio managers to forecast market movements correctly. As the seller (writer) of a call option, a fund will tend to lose money if the value of the reference index or security rises above the strike price. When writing a call option, a fund will have no control over the exercise of the option by the option holder and the American style options sold by a fund may be exercised at any time before the option expiration date (as opposed to the European style options which may be exercised only on the expiration date). There may be times a fund needs to sell securities in order to settle the options, which may constitute a return of capital and make a fund less tax-efficient than other ETFs. Options may also involve the use of leverage, which could result in greater price volatility than other markets.

A fund that effects all or a portion of its creations and redemptions for cash rather than in-kind may be less tax-efficient.

Commodity prices can have significant volatility, and exposure to commodities can cause the value of a fund's shares to decline or fluctuate in a rapid and unpredictable manner.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

The writer of a covered call option foregoes any profit from increases in the market value of the underlying security covering the call option above the sum of the premium and the strike price of the call, but retains the risk of loss if the underlying security declines in value. The Fund will have no control over the exercise of the option by the option holder and may lose the benefit from any capital appreciation on the underlying security.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. For example, changes in governmental fiscal and regulatory policies, disruptions to banking and real estate markets, actual and threatened international armed conflicts and hostilities, and public health crises, among other significant events, could have a material impact on the value of the fund's investments.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Investments in debt securities subject the holder to the credit risk of the issuer and the value of debt securities will generally change inversely with changes in interest rates. In addition, debt securities generally do not trade on a securities exchange making them less liquid and more difficult to value.

The use of derivatives instruments involves different and possibly greater risks than investing directly in securities including counterparty risk, valuation risk, volatility risk, and liquidity risk. Further, losses because of adverse movements in the price or value of the underlying asset, index or rate may be magnified by certain features of the derivatives.

A fund normally pays its income as distributions and therefore, a fund may be required to reduce its distributions if it has insufficient income. Additionally at times, a fund may need to sell securities when it would not otherwise do so and could cause distributions from that sale to constitute return of capital. Because of this, a fund may not be an appropriate investment for investors who do not want their principal investment in a fund to decrease over time or who do not wish to receive return of capital in a given period.

Trading FLEX Options involves risks different from, or possibly greater than, the risks associated with investing directly in securities. A fund may experience substantial downside from specific FLEX Option positions and certain FLEX Option positions may expire worthless. There can be no guarantee that a liquid secondary trading market will exist for the FLEX Options and FLEX options may be less liquid than exchange-traded options.

A fund's income may decline when interest rates fall or if there are defaults in its portfolio.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

As inflation increases, the present value of a fund's assets and distributions may decline.

Interest rate risk is the risk that the value of the debt securities in a fund's portfolio will decline because of rising interest rates. Interest rate risk is generally lower for shorter term debt securities and higher for longer-term debt securities.

Leverage may result in losses that exceed the amount originally invested and may accelerate the rates of losses. Leverage tends to magnify, sometimes significantly, the effect of any increase or decrease in a fund's exposure to an asset or class of assets and may cause the value of a fund's shares to be volatile and sensitive to market swings.

Certain fund investments may be subject to restrictions on resale, trade over-the-counter or in limited volume, or lack an active trading market. Illiquid securities may trade at a discount and may be subject to wide fluctuations in market value.

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund classified as "non-diversified" may invest a relatively high percentage of its assets in a limited number of issuers. As a result, a fund may be more susceptible to a single adverse economic or regulatory occurrence affecting one or more of these issuers, experience increased volatility and be highly concentrated in certain issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

Subsidiary investment risk applies to a fund that invests in certain securities through a wholly-owned subsidiary of the fund that is organized under the laws of the Cayman Islands ("Subsidiary"). Changes in the laws of the U.S. and/or Cayman Islands could result in the inability of a fund to operate as intended. The Subsidiary is not registered under the 1940 Act and is not subject to all the investor protections of the 1940 Act. Thus, a fund that is as an investor in the Subsidiary will not have all the protections offered to investors in registered investment companies.

If a fund does not qualify as a RIC for any taxable year and certain relief provisions were not available, a fund's taxable income would be subject to tax at the fund level and to a further tax at the shareholder level when such income is distributed. Further, there may be other tax implications to a fund based on the type of investments in a fund.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

A fund that invests in FLEX Options that reference an ETF is subject to certain of the risks of owning shares of an ETF as well as the risks of the types of instruments in which the reference ETF invests.

An underlying ETF with investments that are concentrated in a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by adverse events than the market as a whole.

A fund that has exposure to gold through its investments (through a subsidiary) in FLEX Options on a reference ETF is subject to gold risk. The price of gold bullion can be significantly affected by international monetary and political developments and generally may be more speculative. In addition, worldwide metal prices may fluctuate substantially over short periods of time, and as a result, a fund's share price may be more volatile than other types of investments. The underlying ETF does not insure its gold and a loss may be suffered for which no party is liable for damages.

Securities issued or guaranteed by federal agencies and U.S. government sponsored instrumentalities may or may not be backed by the full faith and credit of the U.S. government.

A fund may hold securities or other assets that may be valued on the basis of factors other than market quotations. This may occur because the asset or security does not trade on a centralized exchange, or in times of market turmoil or reduced liquidity. Portfolio holdings that are valued using techniques other than market quotations, including "fair valued" assets or securities, may be subject to greater fluctuation in their valuations from one day to the next than if market quotations were used. There is no assurance that a fund could sell or close out a portfolio position for the value established for it at any time.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor. First Trust Japan Co., Ltd. is the fund's sub-distributor.

First Trust Advisors L.P. is registered as a commodity pool operator and commodity trading advisor and is also a member of the National Futures Association.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. Nor does the document implicitly or explicitly recommend or suggest an investment strategy, reach conclusions in relation to an investment strategy for the reader or provide an opinion as to the present or future value or price of any fund. First Trust has no knowledge of and has not been provided any information regarding any investor. Financial professionals must determine whether particular investments are appropriate for their clients.

Definitions

Standard Deviation is a measure of price variability (risk). **Alpha** is an indication of how much an investment outperforms or underperforms on a risk-adjusted basis relative to its benchmark. **Beta** is a measure of price variability relative to the market. **Sharpe Ratio** is a measure of excess reward per unit of volatility. **Correlation** is a measure of the similarity of performance. The **LBMA Gold Price** is the global benchmark price for unallocated gold delivered in London. The **S&P 500® Index** is an unmanaged index of 500 companies used to measure large-cap U.S. stock market performance.

The Target Outcome registered trademarks are registered trademarks of Vest Financial LLC.

The fund is not sponsored, endorsed, sold or promoted by SPDR® Gold Trust and WGTS, (together with their affiliates hereinafter referred to as the "Corporations"). The Corporations have not passed on the legality or suitability of, or the accuracy or adequacy of, descriptions and disclosures relating to the fund or the FLEX Options. The Corporations make no representations or warranties, express or implied, regarding the advisability of investing in the fund or the FLEX Options or results to be obtained by the fund or the FLEX Options, shareholders or any other person or entity from use of the Underlying ETF. The Corporations have no liability in connection with the management, administration, marketing or trading of the fund or the FLEX Options.

Teneo Partners

ご留意事項

◆本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

◆ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「ＰＰＭ（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。

◆本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。

◆本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。

◆本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものでは無く、記載内容は予告なく変更されることがあります。

◆本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。

◆ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

◆本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。 又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2026082805

Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業　関東財務局長（金商）第2315号　加入協会：日本証券業協会
住所：〒104-0031　東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階　Tel：03-4550-2518（代）
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp